

2021 年 3 月期 決算IR説明会 質疑応答概要

株式会社メイテック

1. 日 時 2021 年 5 月 11 日（火）16：00～16：35

2. 場 所 オンライン会議

3. 質 疑 応 答

質問 今期の上半期の見通しは増収増益ですが、説明資料の 24P の業種別売上のところでは前期自動車関連が少し落ち込みましたけれども、今期はどの業種が牽引役になるのでしょうか。

回答 自動運転や電動化といったCASEは非常に話題になっています。今までの業界の垣根を超えて、新たな業界の方々が自動車業界に参入しており、当社もフォーカスしております。大きなセグメントで見れば自動車が牽引役になっていると思います。また、このコロナ禍で非接触に対する新たな製品開発や、技術の転用に取り組んでいる企業様がたくさんございます。従って、産業用機器、電気・電子機器、それに絡む精密・情報通信と非常に幅広い領域がございますので、当社としては特定のセグメントに集中するのではなく、技術キーワードや開発テーマに基づいた顧客をターゲットにした営業活動を前下期から始めており、この上半期も継続していきます。

質問 非接触関連とは具体的にはどんなところをやっていくのでしょうか。

回答 非接触も非常に広いです。e コマースや、リモートという手段、それに必要な機材等もあります。また、日本の社会において 5G のインフラ整備も進んでいますので、そういったものが全て繋がった状態をターゲットとするスマートシティやスマートホームも関連します。そういったことにフォーカスした営業展開を図っていきます。

質問 説明資料 28P の中計の進捗のところでは、具体的に進捗があったのはPrime エンジニアリングソリューションと設計開発のデジタル化の話でしたが、ここを具体的に説明いただきたい。

回答 まず、設計開発のデジタル化については、長年、メイテック・メイテックフィルダーズ両社の強みである機械系、電気系、情報通信系、制御系、化学系、それぞれの分野でのエンジニアの専門性を活かしたお客さまの製品開発、技術開発をメインに高い評価を頂いておりました。これからのDXにおいては、単なる製品ではなく、それが繋がった状態でユーザーに付加価値を提供していくことが必要不可欠です。全エンジニアに対してDXの基礎知識や、その応用といった研修のラインナップを広げて実施しています。開発知識、経験を活かしたDXとしての付加価値づくりを、この1年目から行ってきたという状況です。同時に、今、企業様は今までの保有する技術や製品をベースに、他の分野に転用・展開していくという動きが非常に活発になっています。そうした中で、例えば、センサーの解析のエンジニアが、自動運転のセンシング技術の中で、具体的な企画や構想という高いフェーズの領域の仕事を任せていただくと同時に、プロジェクトのチーム構成のお仕事も、メイテックグループとして対応させていただくというサービスに変換することによって、Prime 集団の形成やソリューション提案の営業手法の確立を進めてきています。

以上